



- Explore the regions -

文 井上英樹
text Hidaki Inoue
写真 齊藤有美
photographs Yumi Saito

南阿蘇をのんびりと

南阿蘇鉄道・高森駅にトロッコ列車「ゆづり号」が停車している。やがて時刻どおり、ゆつくりと動きだした。列車は美しい田園風景の中を行く。列車の最高時速は40キロ、平均して20キロほどだから自転車程度の速度だ。車窓から見える田んぼの奥には雄大な阿蘇の山々が見える。現在、南阿蘇鉄道をつなぐ区間は高森駅から中松駅まで。所要時間片道約25分の小旅行だ。2016年の熊本地震によって10・6キロの区間はいまだに不通。2020年3月末の全線復旧を目指す。震災3か月後に現在の区間が復活し、全国からやってきた観光客を乗せている。

「現在、4人で運転手、車掌、駅業務をこなしています。『あら運転手さん、なんでもするのね』と驚かれますよ」

と、鉄道課の内川聖司さんが笑う。このトロッコ列車の目玉は、阿蘇の風景はもちろんだが、車掌のアナウンスだ。乗客の前でマイクを握り、阿蘇の自然、成り立ち、魅力を軽妙な話術に織り込んでいく。「その日のお客さんに合わせたお話が多いですね。まあ、大人が多いとお酒の話も多くなります。私、飲んべえなもので（笑）」。

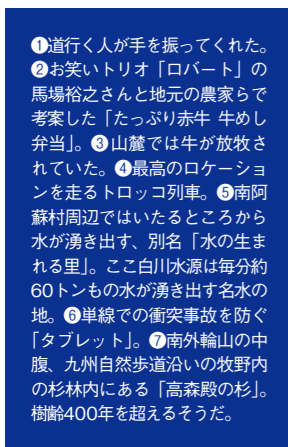
トロッコ列車は貨物列車仕様の車両を観光列車に改造しているため、サスペンションも簡易的なものでお尻に振動が直に伝わる。だが、それどころか懐かしい。短い行程だが、揺れのお陰かひとときの旅情に浸ることができた。車窓から外に目をやれば、畦道に小さな花が咲き、その蜜を吸う蝶、餌を求めて飛ぶ鳥の姿が見えた。道行く人と目が合えば、手を振ってくれる。通常の列車の速度では見過ごしてしまう小さな風景だ。距離は短くなったものの、トロッコ列車は震災前と同じく観光客を乗せて元気に走る。

Tastes of JAPAN by ANA

ANAは地域とともにまだ知らない日本の魅力を発見し国内外に広くお届けします。6月からは機内・ラウンジでも九州の魅力を特集します。この取り組みに関しては専用WEBサイト(www.ana.co.jp/ja/jp/tastesofjapan/kyushu/)をご覧ください。九州の観光情報は九州観光推進機構の旅ネット(www.welcomekyushu.jp/)でも紹介しております。

南阿蘇への翼

南阿蘇エリアへは東京(羽田)他からANA便で熊本空港へ。空港からクルマで約50分。



①道行く人が手を振ってくれた。②お笑いトリオ「ロバート」の馬場裕之さんと地元の農家らで考案した「たっぷり赤牛 牛めし弁当」。③山麓では牛が放牧されていた。④最高のロケーションを走るトロッコ列車。⑤南阿蘇村周辺ではいたるところから水が湧き出す、別名「水の生まれる里」。ここ白川水源は毎分約60トンもの水が湧き出す名水の地。⑥単線での衝突事故を防ぐ「タブレット」。⑦南阿輪山の中腹、九州自然歩道沿いの牧野内の杉林内にある「高森殿の杉」。樹齢400年を超えるそうだ。

南阿蘇鉄道 tel.0967-62-0058

※トロッコ列車の運行は11月30日まで。期間中の土・日曜・祝日に運行。夏休み(7月21日~8月31日)は毎日運転。

熊本県 トロッコ列車

